

はコロナの影響で話し合いの場が設けられていない状況です。昨年度までの検討では、町民が利用しやすいよう、街中に施設があったほうが良いとの意見や、町民に求められる機能を持った施設であるべきといった大枠での施設の在り方の方性は整理しています。



Q 春の農道の除雪で、砂利が畑に入っている。昔は石取りをしてくれたのだが、今はしてくれない。また、前は道路ぎわの、畑のない側に雪を飛ばしてくれていた。

A 以前と自身は変わっていないが、今一度、委託業者に畑の石を見つけた場合は、以前のように拾って対応していただくように伝えます。

Q 来年3月に安牛と上幌延の駅が廃駅になるが、南上幌延とか下沼、糠南は何年頃まで町で管理できるのか。

A 何年ということはないかなと言えません。JRも今の経営状況下では経費削減をするしかないことから、我々としても駅を残したい思いはありますが、合理化をしないではならない事情も一定程度理解しています。ただ、他の市町村と違ってローカルバスが通っていない幌延町においては、何とか交通体系を維持したいとの考えもあります。普通列車の運行存続が駅を残す一つの要因となりますので、状況がよほど急変しない限りは維持に向け、当面は頑張りたいと思っています。

Q 名林公園の木について、どの木を切るという基準はどこにあるのか。電線があるとか、誰が見ても危険な所を切るべきだったのでは。

A 老木が結構多いということと道立林業試験所に調査してもらい、外見は大丈夫だけれど、診断装置を使って中がどうなっているかという調査の結果、今年9本が、倒れる危険性が大きいということ、処分しました。去年、名林公園内の管理計画を作成し、それに基づいて毎年樹木診断してもらいながら、危ないものは切っています。

Q 冬期預託牧場が幌延町にはない。今まで町外の施設に預託していたが、そこも規制がかかってきて、もう預かってもらえないというふうなこともあった。町で何とかできないか。

A 将来的には考えていかないとならないと思っています。この先どうすべきか、皆さんに考えていただき、

希望があれば農協とも相談をしながら、そういった牧場をやっていく必要があるだろうと話をしています。来年度に向けて調査をし、どういうことができるか考えています。

Q こざくら荘で建設中のものは何かとよく聞かれる。何を建てているのか。

A 西天北五町衛生施設組合において、紙おむつの資源化ということで、平成27年度くらいから木質バイオマスの剪定枝と合わせてペレット燃料をつくる検討をし、昨年度から工場を建設しています。そのペレット工場が完成しますので、ペレットを試験的に燃やすポイラーを、こざくら荘に作っています。今年度完成し、来年度は試験燃焼をしたいと考えています。



第6回 幌延町議会 (臨時会)

第6回幌延町議会(臨時会)は、10月19日に開会され、議案1件を原案どおり可決し、同日閉会しました。議決された案件は次のとおりです。

▽議案第1号

令和2年度幌延町一般会計補正予算(第5号)

補正の内容は、歳出のグループホーム建設支援事業の363万円増、幌延町総合体育館改修工事実施設計業務の798万6千円増などです。

令和2年度 補正予算額 (単位：千円)

会計名	補正前	補正額	補正後
一般会計	5,521,422	14,520	5,535,942